夏とおばさん2
natsu to obasan

懐かしい…
見るものすべてに
記憶を刺激されて
…思い出す

ミーン
ミーン
ミーン

僕には憧れの…
おばさんがいた…

でも当時はガキだったし…
ただ眺めて…
行き場のない
衝動に耐えていた…

まったく
相変わらず…
綺麗な人だな

ザッ

す…す…

ははは…こりゃガキには刺激強すぎたわけだよな…

スー スー

この顔と体で毎晩シコってたからな…

東京に進学して良かった…

ムチィ♥

ムチィ♥

あのままここにいたら…

取り返しのつかないことをしてしまっていたかもしれない…

ん…

パチ

きゃあっ!?
カリタッ
あっごめんなさい
インターホン
鳴らしたんですが…
アセ
アセ
あら…もしかして
たかし…くん？
ニコ
そっそうです…
たかしです！
チリーン
お久しぶりです
おばさん

見違えるくらい大きくなったわね…
今は東京で一人暮らししてるんでしょう？
はっはい…それで
募る話もあるだろ明日は一晩中飲みかわそうぜ！
昨夜の同窓会でゆうと会う約束をしてたんですが…
…それがゆう君昨日から帰ってないのよね…
たぶん友達のとこに泊まってると思うのだけど…
でも夜までには帰ってくると思うから…ゆっくりしていって
ニコッ
ありがとうございます

あれは…
ゆうの親父さん…

たしか
長距離ドライバーで
週のほとんど家に
いないんだったよな…

…ということは…
この家で今…
おばさんと
二人きりなんだ…

そうだわ…いただいた
お茶菓子があったわ
ちょっと待ってね

ぱん

ん…この上に…

っぁ…!?

プルプル

ドッキン

あったあった♪
これすっごく
美味しいのよ

あら…どうかした？

いっいえ
別にっ！

ドキ

ドキ

それじゃ…おばさん夕飯の支度しちゃうね
ゆっくりしていてね
カタン
はい
ミーン
ミミミ…
カー
カー
どうぞ遠慮しないで沢山食べてね！
はいっいただきます！
ははははっゆうのぶんまで食べちゃっていいからな！
ガッハハッ

おじさん…
家に居たのかよ…

ほらたかし君
遠慮しないで飲んで♪

ありがとう
ございます

母さん…
わしにも…

あなたはダメよっ
仕事でしょ！

仲が良い夫婦だな…

サッ

ス…

……

ズキン

ズキン

チッ

チッ

ぐご〜ぐご〜
ピコン♪
すまん、せいじのとこで
今まで寝てた
これから帰る…
ゆうからか…
はぁ〜まったく…
すまん、せいじのとこで
今まで寝てた
これから帰る…
ゆう君これから
帰ってくるそうよ…
ええ…
みたいですね
それじゃあ…
ニヤ
ひっきん
帰ってくるまで
一緒に飲みましょうか
いいんですかっ!?

どうしたのうつむいて？

カラン

なんか…二人きりだと緊張しますね…

あら…うふふ

ニコ

こんなおばさんでも女性として意識してくれちゃうのかしら？

ウフフ

こんなおばさんだなんて…

ゆうのおばさんは…すごい綺麗で可愛いと思いますよ！

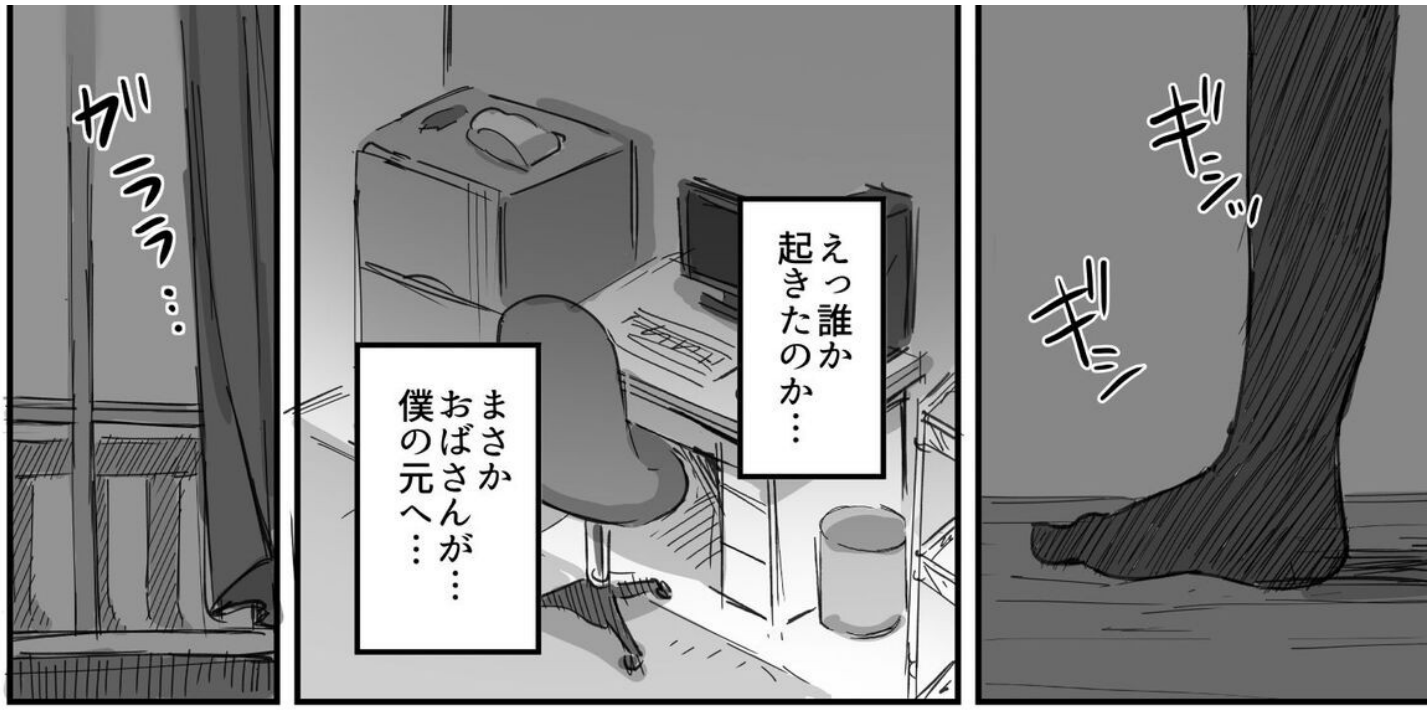
あっごめんなさい…可愛いだなんて

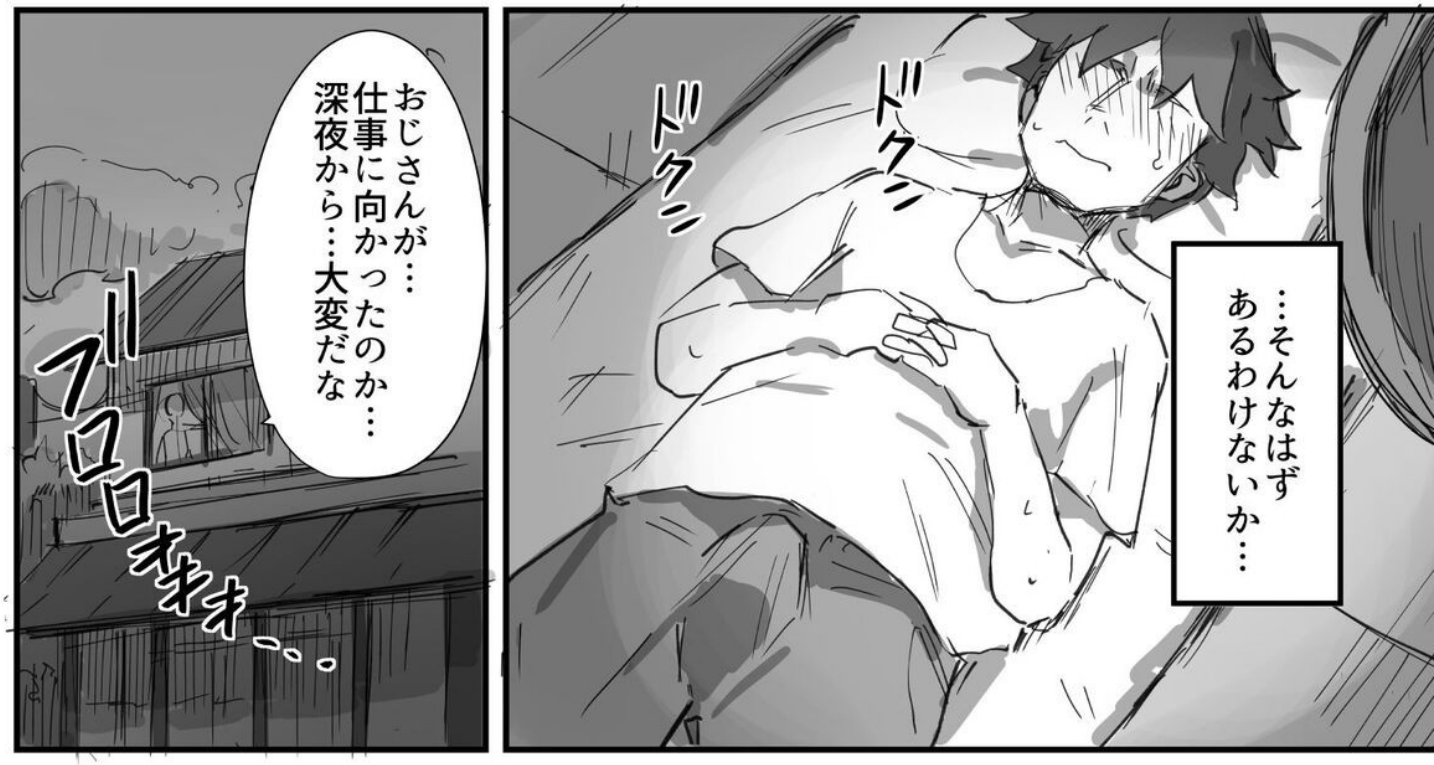
ううんありがとう…

ギンギン

赤面してるおばさん…可愛いな…すげームラムラする…

チッ
チッ
おばさん少し飲みすぎちゃった…そろそろ…寝ましょうか？
ぽ～
…そうですね
ギン
ギン
おばさんが…下で寝てると思うと…
寝れん…
あー ムラムラする
夜這いしちゃうか…
ってなに考えてんだ…襲うなんて…
そんなことできるはずないだろ…
ゲコォ
ニャつ
ニャつ


ギシッ
ギシ
えっ誰か起きたのか…
まさかおばさんが…僕の元へ…
ガララ…


…そんなはずあるわけないか…
ドクン
ドクン
おじさんが…仕事に向かったのか…深夜から…大変だな
フルフルオオ…

じゃあ…今この家の中には…
僕とおばさんだけなのか…
ギシィ…
…喉が乾いてきたな…
ゴクリ…

ギシ
ギシ…
ギシ…
おばさん下着で…寝るんだ…
す～
す～…
す～
ぷるん
ムラ
ムラ
プリン…

スルスル
ん…
はぁ…はぁ…
むぁ
ゴロン
ん…んん…
ぱちっ
えっ…あなたっ？
きゃあっ!?
ぼぉ～
たかし君なのっ!?

…おばさん
ごめん…僕もう
我慢できなくて…

ハァ

ハァ

ハァ

くい〜

ビクッ

何を…して…
ダメよ！

やめなさいっ！
あっこら…

…おばさんの
まんこ…

やだっ…食い込ませ
ないで…あんっ

クイ
クイ

はぁ

だ…だめよ…
やめて…

ビクッ

いいかげんに
しなさいっ…
こんなことして…

ハッ

ズルッ

きゃあっ!?

はぁ

はぁ

な!?

あっ…いやぁ…

モワァ…

はぁ…はぁ…おばさんのクリトリス…

やめ…てっ！

やだっこの子…酔っぱらってるの!?

あはんっ!?

これが…おばさんの味なんだ…蒸れて匂いも…味もすごい濃くなってるよ…

だ…めん…これ以上は本当にもう…人を呼ぶ…わよ！

あっああんっお願い…やっ

指がっ…はいってくるっ!?

はあんっ!?
そん…な風に
乱暴にかき…
回さないでっ!?

ビク
チュクッ
チュクッ
チュプッ

でも…ほら見て…
すっごく
気持ち良さそうに
マン汁でてるよ

……

フー
フー

ピチャ…

そろそろ…

ヒッ

ズッ

…逃げなきゃ…

グッ

だめ…飲みすぎ
ちゃったからっ!?
力が入らない…

カクカク

もうここがズキズキして…
自分でも抑えきれないんだ…

ビキッ

ハー

ビキッ

ッ!?

ひいっ…

ハー

ビク

何この…サイズは…
ダメよ…こんなので
無理やり押し込まれたら…
壊されちゃうっ！

ガクガクガク

お…落ち着いて…

わ…わかったわ…
おばさんが手で…
してあげるから

フー
フー

はぁ

キュ…

はぁ

うっ…ああっ
すごいおばさんに
シコシコされてるっ！

はぁ

ニュコ
ニュコ

はぁ

一発抜いて
あげたら…
正気に戻って
くれるわよね…

ああ…やっぱりおばさんは
そうしてくれるんだね…
ハッ
ハッ
コス
コス
でも…ダメだよ…おばさん…
それだけじゃいつまでも終わらないよ…
ヤルまッ
!!
ほら…咥えてくれなきゃ…
クチュ
クチュ
ッ!?
喉の奥まで…
ズボッ
ふぐ
すごい男の臭い…
ヌプ
ヌップ
もうずっと旦那としてないから…
久しぶりの雄の臭いで…
ジュン
ジュン
ふぐ
ズリ

おかしくなりそう…

ああ…おばさんすごい…すごく上手だ…ああ気持ちいいよ…

ぞくぞく

ジュプッ

ジュプッ

ジュプッ

口の中にたかし君の我慢汁が溢れてくる…

フー

フー

ビュルルルッ

…ッ!?

フーッ

フーッ

うっ出るよおばさん…口でっ中で出すよっ!?

ハッ

ハッ

ハッ

ちゃんと飲んでっ!

ハー

ハー

むぐ…ん…んむ…むぐ…

ビュルッ

ビュルッ

ごく…ごくん

ケホッ…

トロォ…

ふー…ふー…

喉にカラミついてて…臭いまで残ってる…

ハッ

ハッ

おばさん…ごめん…

終わった…？

正気に戻ったのね…

ふー

ふー

グシ

グシ

まだ…治まりそうにないんだ…

グイッ

ひいッ…

!!

ドサッ

ズリュ

ズリュ

あっ

ああんっ…

ダメ…それだけはダメよたかし君！

私には旦那も息子もいるの…よ…

大丈夫…これきりにするから…

フー

フー

ビク

ビク

ヌチ

ヌッチ

ヌチュ

何を勝手なことを言って…

ビクン

あっ…

ぐ…おばさんのキツ…

ゲッゲッ

いっやあああっんッ…!?

ズッゲゲゲッ

入ったっ…
やっとおばさんと
一つに慣れたんだっ！

な…なにこれ…

はぁ

はぁ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビックン

あぁぁぁ

あぁッ

ギュ

内蔵ごと
押し上げられてる…

フー♥

フー♥

おばさんのまんこ…
すっごく
締め付けてくるよ

あっ

あっ

あんっ

動いていいよね…

あっだめっ
ちょっと…

た…たかし君…待って…
だめ…動かさないで…

はぁ

はぁ

ビク

ビク

パチュッ

パチュッ

パチュッ

パチュッ

ギッ

ギッ

あっ

うっ…お腹の奥…
そんなに突かないで…
ああんっ…はぁはぁ…

ハーハー

ビク

ビク

おばさんの子宮口に
亀頭が吸い付いて…
イイッ

ぢゅぢゅっ

ぢゅぢゅっ

はぁ

あっ

はぁはぁ…
おばさん必死に
よがってる姿…
すごく可愛い…

ハァ

ハァ

あっ

あっ

パンッ

パンッ

パンッ

パンッ

主人の優しい動きと全然違うっ…
ふっふっふぎぃッ…
硬いのに突き上げられて…苦しい…けど…
パンパンパンパン
あっあっ
ビクビク

気持ち良くなっちゃうよおおお!?
ズッ
ズッ
ぬぬぬ〜
はぁ
あぁぁ
ぞくぞくぞくぞく

う…出そう…

ブルルル…

おばさん中で…
このまま中で
射精していいっ!?

バンッ

バンッ

バンッ

ハッ!?

ダメよッ！
それだけは絶対ダメッ！

ドッ

ドビュッ

うわっ!?

はぁ♥
ぞくぞく♥
ドクッ
…良かった…
中にだされなくて…
それにしても…
はぁ♥
ビュッ
ビュッ

すごく…熱い…臭いも
そういえば精液って
こんなだったわね…
主人と小作りしたときの
ことを思い出してきちゃう…
はぁ♥
はぁ♥

これで終わった？
…それとも…
若いから……
おばさん…僕…
はぁ
はぁ
はぁ
ずず…

…もう一度…

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

ギッ

ギッ

やっぱりまだなのね…
でも次はもう
拒めないかもしれない…

そうなる前に…

ハァ

ハァ

ヌギ

ヌギ

わかったから…
でも射精は外でしなさい
わかった？

…うん
約束するよ…おばさん…

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

パチッ

ミュル…

ごめんなさい…
あなた…

でも
中出しされるよりは…
こうした方が
マシよね…

ビクッ

ビクッ

ハーハー
おばさんの…肛門まで丸見えだよ
言わ…ないで
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ドッキ
ドッキ
ぞくぞく
かぁ…
はぁ…はぁ…
あのお淑やかなおばさんが僕の前で
ハァ…
ハァ…
こんなメス猫みたいな恰好してるなんて…
ヒクヒク
ヒクヒク
恥ずかしくて…死にそうだわ…
ブーブー

ブブッ
ブブッ

はぁ
ブブッ
はぁ
はぁ
はぁ

やだっうそ

ゆうから着信じゃないか
もう近くにいるのかも
聞いてみなよ
えっ
ハァ
ハァ

もしもし母さん？
ニヤ
ええ…そうよ…
どうしたの？

もしもーし
ヒック
ヒック
ゲコッ
ゲコッ

いや～悪いね今日は
それでさ～やっぱり明日帰ることにしたから
ニヤ～
そうなの？わかったわ…
それじゃ…切る…
ビクッ♥
ひぃんっっ!?
レロ
ペロ
うそでしょ…お尻の穴を舐めてるっ!?
レロ
ハッ
ハッ
ちょっとうそ…こんな時に何を!?
はぁ
母さんどうした？
はぁ
はぁ
はぁ
プルプル
ぞくん♥
ぞく♥
んっんん…何でもないわ…
ハー♥
ハー♥
ズボッ
ズボッ
んっはあんっ!?
ハァ
ハァ

…舌が中にっ
ぞくぞく
ズボッズボッズボッズボッ
だ…め…やめなさ…い…
フーフー
はぁはぁ
もう…信じられない…
くっふん……っ♡
ビクッ

大丈夫か？
ぞくぞく
くっはん…んんっ♡
はーはー

…もしもし？咳？風邪でも引いた？
ちゅぱっちゅぱっ
…ッ…そっ…うみたい
ビクッビクッ

やっくっる…♡
ハーハー
ビクッ
ズリュッズリュッズリュッ
ビクッ
いっ…く…っ!?

ああ…お尻の穴ホジホジされて…イッちゃった…♡

息子と電話中なのにっ♡

はあ

ビクンッ

ん!

はあ

ガク

ガク

はあんッ!?

ビクンッ

ビクンッ

はあ

はあ

ビクッ

フーッ♥

…酷そうだな
早く休んだ方が良いよ

うっん…
そうする…ね

フーッ♥

はあ

ビクッ

グイッ

ギシッ

ギシッ

ひゃっ♡

あぁぁぁ~
あぁッッ
ビクッ
バンバンバンバ

おばさんっも…
気持ちいいっ？
パンッ
パンッ
パンッ
はぁ
はぁ
あぁ
あぁ
はっ
ああああんっ～～

気持ちいいっ…
すっごく気持ちいいよ
でもそんなこと
口が裂けても言えないっ

あー
主人とゆう君を
裏切れないわ…
でも…
あー
どぢゅっ
どぢゅっ
どぢゅっ
ぞくんっ
ぞくんっ～～
くふっすごい…
激しい…のおおっ♡

あぁ♥あっ♥
ぎゅぎゅ♥
これすご…ごりごり
中でごっ…ごりゅしてる…♡
ズリッ
ズコッ
ズコッ
ズコッ
おばさん…
ハーッ♥
ハーッ♥
はぁ
はぁ
…むぐ…んっ…
フーッ
フーッ
ちゅるっ♥
ぢゅっ♥
ふっ♥
ぺっ

たかし君…唾液まで…吸ってる…激しく求められてる…

ハッ ハッ

ビクン ビクン

ちゅっ

レロッ レロッ

フー♥ フー♥

グチュッ

はぁ はぁ

グチュッ

ガクガク

おばさん…好きだ…好きだよ…

グチュッ

はぁ

なんだか…可愛い♡

ちゅぱっ ちゅっ

ぞく ぞく

たかし…くん♡

ビクン♥

ツー…

パンッ パンッ

ビクッ

んんん〜〜〜ッ♡

キュッ

イッちゃうっ
あぁ
あぁ
あぁ
あぁ
ああ〜っ
イッちゃうっ♡
いいよ
イっていいよ！
ズッ
ズッ

たかし君の…チンコでっ♡
あぁ
あぁ
あんっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ガク ガク
イクッ

くふん…♡

はぁ

ビクン

はぁっ

ビクン

んっ

はっ

ビクン

ビュビュッ

はぁー…はぁー…♡

ビクン

ガク

ガク

ビクン

ドロッ

ビクン

ビクン

はーはー

おばさんの膣…気持ち良すぎて…

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

精子がドバドバでてとまらないよ！

チッ
チッ
あ…あの
シュル…
シュッ

はーっ♡
はぁ♡
はぁ♡
……
はーっ♡
シュッシュッ
シュッ
ごめんなさい…
僕…なんてことを…

おばさんの寝てる姿…見た瞬間に気持ちを抑えきれなくなって…
ハァッ
ハァッ
…いいの…今日のことはお互い忘れましょう

そうだね…